

私は今まで裏磐梯の植物について調べてきました。裏磐梯には「ワレモコウ(吾亦紅)」について詳しく知りたくて行きました。このワレモコウはバラ科の植物で、ちゅ という生薬を含んでいるので太陽で乾燥させると止血や、火傷などの治療に使うこともできるんです。

そんな、私たちの生活にも役に立つ植物だからこそ最近、盗掘されていてどんどん数が減ってきているのです。なのでワレモコウワレモコウ現在残っている、具体的な数を知りたいと思っていました。そもそも私がワレモコウに興味を持ったきっかけは、布佐タイム・華道講座の華材にワレモコウが入っていて『なんか面白い花だなあ』と思ったからです。その時は全然ワレモコウについて知らなかったので普通に使っていたのですが、パソコンで裏磐梯の植物を調べていた時にワレモコウを見つけて『あの花だ!』と思い出して調べ始めました。

実は私にはワレモコウの他に、もうひとつどうしても見たい植物があったのです。それは「水芭蕉」です。私は一年生の頃から水芭蕉のことだけを一生懸命に調べてきました。このゼミ学習の一番初めの入門講座の時に、先生の話聞いてこれはおもしろそうだなと思ったので植物のゼミに入りました。その時の先生の話の内容が毒のある植物についてで、その中に水芭蕉があったのです。私はそれから水芭蕉についてすごく調べました。その調べて中から、少しご紹介したいと思います。

1. 水芭蕉を服用することによって出る症状です。人間が服用すると吐き気や脈拍の低下、ひどい時には呼吸困難や心臓麻痺を起こしてしまい死に陥る危険性もあるのです。
2. そんな水芭蕉にも花言葉があるということを知っていますか？
一つは「美しい思い出」二つめは「変わらぬ美しさ」です。どちらにも共通しているのは[美しい]ということです。由来は豊富な雪解け水が流れ出し、きれいな水芭蕉に潤いを与え力強く咲き誇る、いつ見ても美しいということなのです。
3. そしてなんといっても私が面白いと思ったのは、子守唄です。アイヌ民族の人々がアイヌ語で歌った子守唄で、日本語に直すと「フワハエン ウシシキナは棄てろ フワハエン」です。ウシシキナは水芭蕉のことで、フワハエンは気をつけなさいという意味なのです。つまりこの歌はクマの親子の母親が子グマに、冬眠から目覚めて食料を探しに山の麓に下りて来るとき、毒の草を食べないように と聞かせる歌なのです。それをアイヌ民族がマネして自分の子供に歌って聞かせ、注意したそうです。さらに私はこの歌の楽譜にもたどりつきました。8度の音程になっていてこの独特の大きな音の跳躍がとても魅力的にかいてあります。

その他にも水芭蕉の姿や成長の仕方、地域ごとでの特徴、地方などたくさん調べました。しかし、3月11日の震災の影響で林間学校が5月から9月に延期になりました。ということは水芭蕉の開花時期が過ぎてしまう・・・。と私は思い、『もう水芭蕉は見る事ができないのか。』と落ち込んでいました。

それでもどうしても水芭蕉が見たかった私はあることを思い出しました。以前に調べていた水芭蕉の成長のしかたの中に、開花時期が過ぎた後の水芭蕉はどうなるかが書いてあったのです。なので私は開花時期が過ぎた後の急激に大きくなり、きれいなときの姿とは遠く離れている、まるで野菜のような水芭蕉なら見る事ができるかとも思いました。

ではまずはワレモコウです。ズバリ、先生にききました！

「現在ワレモコウはどのくらい残っているのですか？」

するとネイチャーガイドの阿部先生は、

「今いる野鳥の森にはあまりないけどちょっと離れた所へ行けば、まだ結構残っているよ。」と答えてくださいました。私はそれを聞いた瞬間、ホッと安心しました。でも実際にその姿を見ることができなかったのは残念です。

そして次是水芭蕉です。私がどうしても見たいと言っていた水芭蕉・・・。なんと！



見ることができたのです。もちろん開花時期のきれいな姿ではなかったのですが、少し大きくなったと思われる水芭蕉をしっかりと自分の目で見てくることができました。

見つけたのはやっぱり先生でさりと「あれ是水芭蕉ね。」と言っていました。私はあれだけ見たいと言っていたのに前を通っても全然気づかず、少しショックだったのですが、先生はさすがだなと感心しました。

私は開花時期の普通の水芭蕉を実際にみたことがないのでどのくらいの大きさか、わからないのですがそれでも葉は大きく感じました。

次は裏磐梯に行って驚いたことをご紹介します。

まずはキノコです。森のあちこちにキノコが生えていました。そのほとんどが見たことのないキノコでさらに驚きました。キノコにも色々あるので当然、食べることのできるキノコと食べられないキノコがあります。その見分け方を教えていただきました。



←この写真のように、裏側がスポンジのようにふわふわしているキノコが食べられるキノコです。そうでないキノコは毒がある可能性があるので危険です。

→湖畔の森 自然散策路で見つけたナメクジがキノコを食べているとても貴重なお食事シーンです。





←同じく湖畔の森 自然散策路で
の一枚です。

これはクマの足跡です。まだそんなに長い時間はたっていなかったそうです。少し前にここにクマがいたと思うと、ちょっとゾッとします。そして2日目にはクマに遭遇していたそうです。私たちは全く気付かなかったのですが阿部先生が気づいて追い払ってくれました。

私が裏磐梯に来て1番始めに驚いたのは、コンビニやガソリンスタンドが茶色いことです。これには本当に驚きました。でもこれも裏磐梯の美しい自然の景色を壊さないようにとしていることです。ここまで配慮しているとはすごいなと思いました。



林間学校を通して…

2日目の自然体験学習の講師だった阿部先生が歩いているときに何気なく言ったことがありました。

「例年はたくさんの中学生在が福島に来て、僕もたくさん教えていたのだけど今年は君たちが1番始めだから緊張するなあ。でもこんな状況でも福島に来てくれてありがとうね。」私は阿部先生のこの話をきいて、これでちゃんと勉強していかなかったら阿部先生を含めネイチャーガイドの先生方や福島の人たちの温かい気持ちを裏切ることになってしまうと思いました。

私たち中学生がなにか福島の人たちの力になれていたのなら、幸いだと思います。